

■モットーは「自律・創造・自由」

津山高専は、機械・電気・電子・制御・情報分野という、工業系でも比較的狭い、しかし重要な領域の技術者教育を行っています。卒業生・修了生が社会で活躍するためには、基礎力をしっかり身につけた上で、自ら判断できたり新しいことに対応できたりすることが必要と考え、「自律・創造・自由」をモットーに学校全体の活動を推進しています。例えば、自ら課題を設定して学習を進める「自発的学習科目」、資格取得に挑戦して単位を取る「資格関連科目」など、自発的な学習を勧め、その成果を認める制度の下、自由に明るいキャンパスを目指しています。こうした教育の内容と質を社会に認知してもらうために、日本技術者認定機構(JABEE)の基準に対応した技術者教育プログラムを設定し、平成15年に認定を受けました。これ以降の専攻科修了生全員がJABEE認定者で、社会の要求水準を満たした教育を実践しています。

■活発な課外活動

「自律・創造・自由」のモットーは、学習以外の活動でも活かされています。自主的に活動を進める学生会は、最大のイベント「弥生祭」(文化祭)を毎秋に実行したり、運動部の14部と3同好会ならびに文化局の9部と5同好会を運営したりしています。これらの部は、高専間はもとより高校や大学と交流したり、全国レベルの大会に参加したり活発に活動しています。最近の全国的な活躍を挙げると、システム研究部が第17回プロコン自由部門で、情報総合研究部が高専ロボコン2005で、それぞれ平成17年度に同時に全国制覇を成し遂げました。また、「第4回ジャパン・サイエンス・エンジニアリング・チャレンジ～高校生“科学技術”チャレンジ(JSEC2006)」でのグランドアワード、第6回日本情報オリンピックで銀賞、(独)情報処理推進機構(IPA)の「未踏ユース」に採択された学生が「天才プログラマー/スーパークリエータ」に認定されるなど、優れた成果を上げています。



第17回プロコンにおける
自由部門最優秀賞(文部科学大臣賞)のチーム



高専ロボコン2005における全国制覇のチーム

キャンパス散策 (津山工業高等専門学校)



津山工業高等専門学校(津山高専)は、岡山県北中部に位置する津山市にあります。キャンパスは、校歌で「美作の国なかば たたなづく山並を見はるかす丘の上」と歌われているように、市内中心部から北東の高台で緑豊かな環境にあります。

津山市は、幕末に洋学の祖、宇田川玄随(うだがわげんずい)、箕作阮甫(みつくりげんぼ)らを輩出するなど、教育・文化の城下町として知られています。この地に、高専制度発足2年目の昭和38年(1963年)に、2学科3学級の1学年定員120名で開校しました。その後の学科増や学科改組ならびに平成9年の専攻科設置を経て、現在は次のような4学科と2専攻の総学生数884名(平成19年5月1日現在)の高専となっています。

本 科：4学科 (1学年定員160名、総定員800名)

機械工学科 (2学級で発足)

電気電子工学科 (平成15年までは発足時の電気工学科)

電子制御工学科 (平成3年に機械工学科の1学級を改組)

情報工学科 (昭和61年に金属工学科を改組)

専攻科：2専攻 (1学年定員16名、総定員32名)

機械・制御システム工学専攻

電子・情報システム工学専攻



キャンパス全景

■ 社会に開かれた寮生活

津山高専では、約4割の学生が寮(寄宿舎)で生活しています。ここでも、自由ななかにも自律的な生活ができるよう、寮生会の自治による寮運営がなされています。寮生会には10の専門委員会があり、日常のゴミ問題への対応から寮内の情報ネットワーク維持管理まで、幅広く活動しています。さらに、寮の活動は津山高専内部にとどまらず、交換寮生という制度を提唱し、九州・四国・近畿・東北の4高専に津山高専の寮生が出かけるとともに、相手高専からも寮生を受け入れて、寮生の視野を広げるのに役立っています。また、他高専へ視察に出かけたり、地元町内会と交流したりと、社会に開かれた寮を目指しています。



北 辰 寮

■ 留学生と国際交流



広島を訪問したペンカレと津山高専の学生

津山高専は、高専が留学生を受け入れ始めた初期の昭和60年から留学生を受け入れています。最近では増加傾向にあり、本年度は17名の留学生が在籍して、日常的に日本人学生との交流を行っています。さらに、平成14年からはペンシルバニア州立カレッジ(ペンカレ)との相互交流を進め、平成16年度には正式な協定を締結しました。昨年度は、5月にアメリカから学生を本校に受け入れ、10月には本校から学生がペンカレを訪問しました(本年度も同様の日程で交流が進行中です)。また、平成16年から上海に研修旅行に出かけており、異なる文化に触れ見聞を深める機会を設けています。

津山高専に関する情報は、公式ホームページを通して継続的に提供しているので、ご覧ください。

津山高専公式ホームページ <http://www.tsuyama-ct.ac.jp/>